



平成26年5月26日

『境界を越える - グローバル・デジタル・転換期・リーダー』

国立大学法人政策研究大学院大学 教授  
国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター  
上席フェロー 有本建男氏

を講師に迎え、豊橋技術科学大学第3回プレステージレクチャーズを開催します。

【概要】

学生達が多くのもを学び、感じ取り、将来への夢や志を育む貴重な機会として、本学では「時代を切りひらいてきた」先駆的研究者や先進的経営者・起業家の方々による豊富な経験と深い見解に基づく、熱のこもった特別講演をお届けします。

3回目となる今回は、国立大学法人政策研究大学院大学 教授・国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー 有本建男氏を講師に迎え、次のとおり開催します。

日 時：平成27年6月4日（木）14：40～16：10

場 所：豊橋技術科学大学 講義棟 A1-201

講 師：有本建男氏

国立大学法人政策研究大学院大学 教授

国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー

講演テーマ：『境界を越える - グローバル・デジタル・転換期・リーダー』

後 援：豊橋商工会議所

※ 別紙チラシも参照ください。

なお、今回のプレステージレクチャーズはテラーメイド・バトンゾーン教育プログラム<sup>※1</sup>との共催となり、平成27年度テラーメイド・バトンゾーン講義 第2回異分野融合特論講義でもあります。

また、講演後は16時20分から事務局3階大会議室にてスーパーリーダー塾「トップと語る会」（プログラム履修生との懇談会）も併せて行います。

【講演概要】

近年のグローバル化とデジタル革命によって、企業や政府、大学、市民生活における価値感やルール、方法が急速に変化している。一方で、内外の複雑な問題（気候変動、災害、エネルギー、感染症、高齢化等）への実践的な対処のために、技術や大学に対する期待は大きい。歴史的な転換期の中で、グローバルリーダーを志す者の能力、素養は何か。時代の流れと技術動向を俯瞰しながら、一緒に考えたい。

※テーラーメイド・バトンゾーン教育プログラム

平成 22 年 4 月より開始した本学独自の人材育成プログラムで、次代を担う社会のリーダーを企業と協働しつつ育成することを目的とした独自の博士課程プログラム。現在 23 名の学生が履修している。

このプログラムでは、実社会で高度の専門性を活かして、環境、経済、技術情勢などの変化に対応して社会変革、産業技術の創出、公共社会の発展や科学・技術の進歩などを担う社会のリーダーとしての資質やマネジメント力の涵養を目標として、社会の各分野で活躍するリーダーによるテーラーメイド・バトンゾーン講演と、スーパーリーダー塾「トップと語る会」(リーダーとプログラム履修生による少人数制の寺子屋的な懇談会)ならびに次世代の技術社会を牽引するリーダー育成を目指した様々な講義を開講している。

特に、平成 23 年 4 月からは世界のトップクラスの企業の経営者、研究機関の研究者、他大学の先生方、そして企業経験を持った本学教員が連携して通年講義である『開発リーダー特論』も加え開講している。ここでは、企業とは何か、国際化とは何か、そして将来の技術開発の在り方とは何か、などについて深く学び、社会を牽引できる実力あるリーダーの育成を目指している。

本件に関する連絡先

担当者 テーラーメイド・バトンゾーン教育推進室 TEL:0532-81-5116  
総務課総務係 TEL: 0532-44-6504  
広報担当: 総務課広報係 高柳・梅藤 TEL 0532-44-6506

豊橋技術科学大学  
第3回プレステージレクチャーズ

テーラーメイド・バトンゾーン教育プログラム  
平成27年度 異分野融合特論 第2講義

# 『境界を越える – グローバル・ デジタル・転換期・リーダー』

講師 国立大学法人政策研究大学院大学 教授  
国立研究開発法人科学技術振興機構  
研究開発戦略センター 上席フェロー



## 有本建男 氏

学生達が多くのもを学び、感じ取り、将来への夢や志を育む貴重な機会として、本学では「時代を切りひらいてきた」先駆的研究者や先進的経営者・起業家の方々による豊富な経験と深い見解に基づく、熱のこもった特別講演をお届けします。

**概要** 近年のグローバリゼーションとデジタル革命によって、企業や政府、大学、市民生活における価値感やルール、方法が急速に変化している。一方で、内外の複雑な問題（気候変動、災害、エネルギー、感染症、高齢化等）への実践的な対処のために、技術や大学に対する期待は大きい。歴史的な転換期の中で、グローバルリーダーを志す者の能力、素養は何か。時代の流れと技術動向を俯瞰しながら、一緒に考えたい。

**日時** 平成27年6月4日 木 14:40~16:10

**場所** 豊橋技術科学大学 ● 講義棟 A1-201

聴講自由



TAILOR MADE BATON ZONE

本件問い合わせ先

豊橋技術科学大学

● テーラーメイド・バトンゾーン教育推進室  
電話 0532-81-5116 内線 5346

● 総務課総務係

電話 0532-44-6504 内線 6504, 2010

後援 豊橋商工会議所



平成27年5月26日

『複雑系の数理モデリングとその解析』

東京大学 生産技術研究所 教授

同大学 最先端数理モデル連携研究センター長

合原一幸氏

を講師に迎え、テーラーメイド・バトンゾーン講演会を開催

【聴講自由】

【概要】

本学は、テーラーメイド・バトンゾーン教育プログラム\*の一環として、社会の各分野で活躍するリーダーによるテーラーメイド・バトンゾーン講義を開催しています。

テーラーメイド・バトンゾーン講義平成27年度開発リーダー特論第1講義として、東京大学 生産技術研究所 教授・同大学 最先端数理モデル連携研究センター長 合原一幸氏を講師に迎え、次のとおり開催します。

テーラーメイド・バトンゾーン講義「開発リーダー特論 第1講義」

日 時：平成27年6月11日（木）14：40～16：10

場 所：豊橋技術科学大学 講義棟 A2-101

講 師：合原一幸氏

(東京大学 生産技術研究所 教授・同大学 最先端数理モデル連携研究センター長)

講演テーマ：『複雑系の数理モデリングとその解析』

聴講自由・事前申込み不要です。

※ 別紙チラシもご参照ください。

【講演概要】

本講演では、様々な複雑系を対象とする数理モデリングとその解析の概要を講義する。制御理論と力学系理論の融合による複雑系制御理論、複雑ネットワーク理論、非線形データ解析理論を基盤とする複雑系数理モデル学の理論的プラットフォーム、さらにはその具体的な応用事例、たとえば、ハイブリッド力学系理論を用いたテーラーメイド前立腺癌内分泌療法、動的ネットワークバイオマーカーを用いた未病状態の検出による超早期診断、脳型コンピュータ、経済や地震などのビッグデータ解析などを紹介する。

## 【講師略歴】

- 1982年 東京大学 大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程修了（工学博士）
- 1982年 日本学術振興会 奨励研究員（東京大学工学部計数工学科）
- 1983年 東京電機大学 工学部 助手（電子工学科）
- 1986年 東京電機大学 工学部 専任講師（電子工学科）
- 1988年 東京電機大学 工学部 助教授（電子工学科）
- 1993年 東京大学 大学院工学系研究科計数工学専攻 助教授
- 1998年 東京大学 大学院工学系研究科計数工学専攻 教授
- 1999年 東京大学 大学院新領域創成科学研究科複雑理工学専攻 教授
- 2003年 東京大学 生産技術研究所 教授
- 2010年 東京大学 最先端数理モデル連携研究センター長

### ※ティーラーメイド・バトンゾーン教育プログラム

平成22年4月より開始した本学独自の人材育成プログラムで、次代を担う社会のリーダーを企業と協働しつつ育成することを目的とした独自の博士課程プログラム。現在23名の学生が履修している。

このプログラムでは、実社会で高度の専門性を活かして、環境、経済、技術情勢などの変化に対応して社会変革、産業技術の創出、公共社会の発展や科学・技術の進歩などを担う社会のリーダーとしての資質やマネジメント力の涵養を目標として、社会の各分野で活躍するリーダーによるティーラーメイド・バトンゾーン講演と、スーパーリーダー塾「トップと語る会」（リーダーとプログラム履修生による少人数制の寺子屋的な懇談会）ならびに次世代の技術社会を牽引するリーダー育成を目指した様々な講義を開講している。

特に、平成23年4月からは世界のトップクラスの企業の経営者、研究機関の研究者、他大学の先生方、そして企業経験を持った本学教員が連携して通年講義である『開発リーダー特論』も加えて開講している。ここでは、企業とは何か、国際化とは何か、そして将来の技術開発の在り方とは何か、などについて深く学び、社会を牽引できる実力あるリーダーの育成を目指している。

### 本件に関する連絡先

ティーラーメイド・バトンゾーン教育推進室 TEL 0532-81-5116

広報担当：総務課広報係 高柳・梅藤 TEL 0532-44-6506



TAILOR MADE BATON ZONE

qG10 y [®U[J¶G¶  
Â"â"Ý Å~ìÄï°"ï--Óé-âÜ  
μ rw\_QsM]JtÅ"b"æ"¼"³¿Ó·Èh\$œ›-Rb"Óé-âÜ μ

R åS %o Cæ ¼"›æ H è[



国立大学法人  
豊橋技術科学大学

° Ó y % w

y : g þ Æ æ ï ñ ç ð ñ r s ±

f~G¶y\^U[Z€ty-\$  
%o G¶y7œz:gþÆçÈ Z€·ï»"Ö

Ù j ° ¾ -

" A

Šè pxz' sóv%›0Åqb":gþÆæï-çfwrs w"A›è[b"¶šgæ  
q—¶%gæw%ùt'"óv%MšgæzóvÉ¿Äë"«gæzç Æ"»rsgæ›,  
kqb"óv%:gþÆç¶wgæ\$Ó¿¿ÄÑ¥"Üz'txfwé.\$s;Ä«zhq  
Qyž Èæ¿Ä—¶%gæ›;MhÅ"â"Ý"Å²q¥ °ü{•Oz\$É¿Äë"«ì  
!Ú"§"›;Mh°'Ý6wUZt'"Òã8 ...zô ñïĐá"»z&A••srw  
ï¿-Æ"»rssr›°pb"{

ô ì yR å 6 D11 ô Ù TM

ô t [®U[J¶G¶y • è[i y

è£t°

- å /ß~G¶yG¶Ä»¶%Z€J? »¶•È\$œ] .fc»¶\$œ£
- å /ŒŠ¶[üμqy'-Z€œf~G¶»¶æ-:»¶J£
- å /ß~?;G¶y»¶æy•ç? »¶J£
- å /ß~?;G¶y»¶æy•Úèç? »¶J£
- å /ß~?;G¶y»¶æy•-\$? »¶J£
- å /ß~G¶yG¶Ä»¶%Z€J-:»¶•Èy--\$
- å /ß~G¶yG¶Ä»¶%Z€J-:»¶•Èy-\$
- å /ß~G¶yG¶Äý--ÑRJ¶Z€Jóvg»¶•Èy-\$
- å /ß~G¶y\^U[Z€ty-\$
- å /ß~G¶y7œz:gþÆçÈ Z€·ï»"Ö

ì è x

Š È ò M ù ~ d œ

[®U[J¶G¶  
Â"â"Ý Å~ìÄï°"ï--\* è  
•?é y•°ç ~  
•&NBJS•DF!CBUPO[POF UVU BD KQ